

令和元年度 第1回 大阪府立春日丘高等学校 学校運営協議会（全日制部会）議事録

◇日 時 令和元年7月1日（月）15：15～16：45

◇場 所 校長室

◇出席者 運営協議会委員
下村孝（委員長）、磯村昌宏、岩井真弓、有福利恵、藤岡康治、花崎知則
事務局
福留明富（校長）、宮城良明（事務局長：教頭）、清水紀行、池田隆宏、
吉新聖二、松山晴彦

◇内 容 校長挨拶（省略）
委員紹介（省略）
学校運営協議会について確認（省略）
学校経営計画及び学校評価、学校の近況について（報告：省略）
協議・意見交換

◇協議・意見交換（○：学校運営協議会委員の発言、●：学校教職員の発言）

○評価指標の中で、現役進学者数が250名以上とあるが、昔は浪人がほとんど（笑）であったような記憶がありますが…。

●他校に比べて、浪人を敬遠する傾向が強いので結果として現役進学者数が増えている。今年度の3年生は新テストの導入もあり、浪人は少なくなると思われる。

○遅刻のタイミングを教えてください。

●8時30分から1限目が始まるが、29分より校歌のメロディチャイムが流れる。その最後に鐘の音がするのですが、その鐘の音を8時30分の合図とし、その時点で教室内にいないと遅刻。

○地元中学のサッカー大会やチャレンジ教室について教えてください。

●サッカー大会は、サッカー部が企画・運営をしているもので、学校の宣伝や将来のサッカー部員獲得につながっている。またチャレンジ教室は中学生向けに春高の先生の授業体験をしませんかということで、以前の理科だけでなく教科の枠を広げ体験していただいている。

○先生方のお話を聞かせていただいて感じたことは、進学先として阪大、神大はよく出てくるが京大が出てこない。先生方の頭の中になのかと感じた。関西国公立の上位に位置する京大から話をしていく方が、生徒たちの志望校など、好影響を与えるのではないかと思います。

●本校生徒は、もともと京大志望の生徒が少ない現状があります。京大に限らず難関大学をめざすためには、最後まで勉強を続けるというある意味根性も必要。できるだけ早く受験勉強を終わらせたいという生徒も多いので、保護者の皆さまにも、ご家庭でぜひ後期（3月）まで生徒たちを頑張らせるよう声掛けをいただきたい。

○CEFRの卒業時のレベルは

●新テストの中身が十分わかっていないので、対応を見極めている状況。また現状では1年生の現状しか把握できていない。

○トイレの改修についてどうなっていますか。

●昨年度の地震の影響などで、棚上げになっている。本校では北館が古くできるだけ早く改修できるよう要望しているところです。

○浪人生も含めて、進路の実現率（希望する大学にどれくらいの割合で進学したのか）という指標はないのですか。

●現状としてはそういうものは確認していないが、そういう視点があっても良いと考えます。浪人生については予備校と連携して指導している状況もあるので。また浪人生の中には医学部が3名いる。これは、初志貫徹というか、希望進路を何としてもかなえたいという結果であると考えます。

○（評価指標について）2～3年クリアしているのに数字が変わらない部分があるのですが。

●右肩上がりはもちろん考えますが、生徒の現状も変化していく中、一定数を確保することもある必要があると考えます。

○教育相談委員会の開催回数が25回というのは初めてです。それだけ生徒たちのために時間を取っていただいているということなのでしょうね。

○海外大学への進学はどうなっていますか？

●過去に何人かはいます。生徒たちの希望を実現できるようサポートしていきたいです。

○校長ブログについて、校内の教職員にも宣伝してみたらいかがでしょうか？

○春日丘のホームページ上で、教員の顔がもっと見えるようになれば、さらに親近感なども湧いて宣伝にもつながるのではないのでしょうか？

●ホームページは、学校の様子を知っていただく重要なツールですので、多くの方に見ていただいて、学校を理解していただくとともに、中学生の皆さんに志望していただける高校としてこの先も存続していけるよう、適切な情報発信に努めてまいります。

◇次回は10月中旬～10月下旬に実施予定